



平成22年6月15日
中部経済産業局

中部の「地域産業資源活用事業計画」 平成22年度第1回認定について

中部経済産業局では、平成19年6月に施行された、「中小企業地域資源活用促進法」に基づく「地域産業資源活用事業計画」について、中部地域における平成22年度第1回の認定として、本日、4件の認定を行いました。

1. 中部経済産業局では、平成19年度から、中小企業支援策の重要な柱の一つとして「中小企業地域資源活用プログラム」による支援を促進しております。
2. 本事業は、産地の技術、農林水産品、観光資源といった地域の特徴ある産業資源を活用して、中小企業者が創意工夫によって域外市場を狙った新商品、新サービスの開発・事業化を目指しており、この度、平成22年度第1回として4件の地域産業発展の核となる新事業を認定しました。
3. 中部経済産業局では、平成19年度に46件、平成20年度に49件、平成21年度に40件の認定を行っております。（今回の認定により、法施行後、当局認定件数は139件となります）。
4. 事業計画の認定を受けた事業者は、事業計画に基づく試作品開発や販路開拓に対する補助金、設備投資減税、信用保証の特例、政府系金融機関の低利融資、専門家によるアドバイス等の各種支援施策を受けることが可能となります。

（お問い合わせ先）

中部経済産業局 産業部 経営支援課

担当：稲垣、長谷川

電話：052-951-0521（直通）

FAX：052-951-9800

中部の「地域産業資源活用事業計画」
平成22年度 第1回認定

石川県

【金沢市】加賀の伝統芸能

(株)元湯石屋

「薪能」など加賀伝統芸能を鑑賞・体験しながら秘湯深谷温泉でつくる旅行企画の販路開拓」



岐阜県

【土岐市】美濃焼

大東亜窯業(株)、(有)メープル

「産学協同開発による美濃焼の新軽量強化磁器食器「おかのキモチ」の製造・販売事業」



愛知県

【新城市】愛知のプラスチック

本多プラス(株)

「メタリック調の外観を実現したブロー成形によるプラスチック製小型ボトルの製造販売事業」



【岡崎市】三州瓦のシャモット

(有)三浦園芸、新東(株)

「三州瓦のシャモットを活用した hidroカルチャー用園芸用土を利用した観葉植物類の製造販売事業」



中小企業地域資源活用促進法に基づく地域産業資源事業計画の認定一覧

NO	地域名	事業名	事業概要	地域資源 (3類型)	法認定事業者
1	愛知県 新城市	メタリック調の外観を実現したブロー成形によるプラスチック製小型ボトルの製造販売事業	<ul style="list-style-type: none"> 化粧品パッケージの最近の傾向として、メタリック調の質感は、ユーザー層の年齢を問わず、人気のあるものとなっている。自社の持つブロー成形技術とプラスチック材料の配合のノウハウを活用することで、今までにないメタリック調外観をもつ小型ボトル(メタパール・ボトル)の製造に成功した。 メタリック調の美しい概観を持つプラスチック製ボトルは、化粧品業界では底堅いニーズのある製品である。また、類似商品と比較しても、特殊な塗装や蒸着、メッキ等の後工程が不要であるため、工数、納期を短縮でき、コスト的にも有利である。 中堅化粧品会社への納品も決定しており、さらに製品の改良を進め、直接・間接の取引がある国内大手化粧品メーカーを第1ターゲットとし、海外新規顧客開拓も目指す。 	愛知のプラスチック (鋳工業品)	本多プラス株式会社
2	愛知県 岡崎市	三州瓦のシャモットを活用したハイドロカルチャー用園芸用土を利用した観葉植物類の製造販売事業	<ul style="list-style-type: none"> 地元信用金庫主催の経営塾で三州瓦の製造事業者である新東株式会社と出会い、また産学官連携を推進する地元信用金庫の紹介により大学教授の指導を仰ぐ中で、三州瓦のシャモットへの着色、成形方法をの指導を受け、今回の新製品開発のきっかけができた。 本商品は、軽量・高保水・カラーバリエーション等の特徴をもち、外観から給水のタイミングもわかるという使い勝手の面でも付加価値要素をもつ、不焼成による生産方式を採用した、国内産の園芸用土である。 今後は、ホームセンターや雑貨店だけでなく、ハウスメーカーなどにもノベルティとしての活用をPRし、拡販を進めていく。 	三州瓦のシャモット (鋳工業品)	有限会社三浦園芸 新東株式会社
3	岐阜県 土岐市	産学協同開発による美濃焼の新軽量強化磁器食器「おかるのキモチ」の製造・販売事業	<ul style="list-style-type: none"> 「軽く」「強い」磁器のニーズに応えるため、独自に配合した土を産学協同(愛知工業大学、陶料メーカー)で開発し、3年に及ぶ研究開発と試作を重ねた結果、平成21年に製品化に成功、「おかるのキモチ」というブランド名で発売を開始した。 本製品は、一般的な強化磁器以上の「割れ」に対する強さ、「ふち欠け」に対する強さを有しつつ、強化磁器と比較して10%以上の軽量化を実現しており、消耗度の高い業務用食器分野において高く評価されている。 機能+デザイン、質感、季節感をもつ本製品で、老人養護施設やホテル・旅館、さらには企業の社員食堂や学校・幼稚園等への販路開拓を目指す。 	美濃焼 (鋳工業品)	大東亜窯業株式会社 有限会社メーブル
4	石川県 金沢市	「新能」など加賀伝統芸能を鑑賞・体験しながら秘湯深谷温泉でつづく旅行企画の販路開拓	<ul style="list-style-type: none"> 体験型旅行ニーズの高まりを背景として、能を始めとする加賀伝統芸能の集積と同館に併設する能舞台を活用し、能楽公演や能楽師を講師とした仕舞の実演と練習、謡曲の発声体験、能楽おもしろ講座などに全国でも珍しい泉質を有する良質な温泉、能登の魚介類や地元加賀野菜を贅沢に使った加賀料理と宿泊を組み合わせ合わせたプランを提供。 金沢の伝統文化に触れ、秘湯深谷温泉でつづく従来の金沢観光にはなかった新しい観光メニューで集客を図り、深谷温泉の知名度向上、加賀伝統芸能の振興に取り組む。 	加賀の伝統芸能 (観光資源)	株式会社元湯石屋

3類型	鋳工業品	通巻番号	4 - 22 - 001
地域資源名	愛知のプラスチック	認定日	平成22年6月15日
地域	愛知県全域	所管省庁	経済産業省

事業名:メタリック調の外観を実現したブロー成形によるプラスチック製小型ボトルの製造販売事業

会社名:本多プラス株式会社

所在地:愛知県新城市川路字夜燈23-2

連絡先:TEL:0536-23-1351
FAX:0536-23-1088

H P : <http://www.hondaplus.co.jp/>

事業概要(新たな活用の視点)

- ・同社は、プラスチック製の小物のブロー製品やボトル・ケースのメーカーとして、「他人のやらないことをやる」をモットーに、デザインから設計、製造までの一貫した社内体制を構築。文具品、化粧品、医薬品、工具各業界で、オリジナル製品を中心に事業を展開している。
- ・自社の持つブロー成形技術に加え、プラスチック材料の配合と特殊な成形条件のノウハウを発見し、今までにないメタリック調外観を持つ小型ボトル(メタパール・ボトル)の製造に成功した。
- ・すでに、中堅化粧品会社への納品も決定しており、さらに製品の改良を進め、国内外の販路拡大を計画する。



【ブロー成形による筆のさや】

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

競争力

- ・小物のブロー成形は、細かなデザインを実現するための成形条件など独特のノウハウが必要になり、専門で製造している事業者も同社を含め地域内にはほとんどいない。
- ・類似商品と比較しても、メタリック調の光沢を有するものはなく、また、特殊な塗装や蒸着、メッキ等の後工程が不要であるため、工数、納期を短縮でき、コスト的にも有利である。



【PET樹脂の目薬容器】

市場性

- ・メタリック調の美しい概観を持つプラスチック製ボトルは、化粧品業界では底堅いニーズのある製品である。化粧品自身の差別優位性は使用後でしか判断ができないため、ユーザーに手にとってトライアルしてもらうためには化粧品パッケージのデザインや質感は商品力の構成要素として大きなポジションを占めている。

販路

- ・販路としては、直接・間接の取引がある国内大手化粧品メーカーを第1ターゲットとし、海外新規顧客開拓も目指す。



【メタパール・ボトル】

地域における関係事業者等との連携

- ・同社社長は新城市商工会会長に就任している。

3類型	鉦工業品	通巻番号	4 - 22 - 002
地域資源名	三州瓦のシャモット	認定日	平成22年6月15日
地域	碧南市、高浜市、刈谷市、半田市、岡崎市、安城市、西尾市	所管省庁	農林水産省、経済産業省

事業名:三州瓦のシャモットを活用した hidroカルチャー用園芸用土を利用した観葉植物類の製造販売事業

会社名:有限会社三浦園芸
(共同申請者:新東株式会社)
連絡先:TEL:0564-82-2651
FAX:0564-82-3087

所在地:愛知県岡崎市牧平町字大門45
H P : <http://miuraengei.com/>

事業概要(新たな活用の視点)

- ・同社は、昭和46年に現会長である三浦正が好きだった花づくりを目指して農業の世界に飛び込み、鉄工所に勤めた経験を生かしてハウスを手造りして観葉植物の土耕栽培を行う個人事業から始まった。昭和57年にはオランダ視察を行い、ヨーロッパにおいて発達していた水耕栽培(hidroカルチャー)の現場を見学する機会を得た。三浦は「土の代わりに水を使う。靴を脱いで家にかかる日本には最適だ」と考え、先駆者的な立場でわが国の hidroカルチャー導入に努めることになった。そして、その後、水耕栽培の第一任者となり、現在に至っている。
- ・地元信用金庫が主催する経営塾で三州瓦の製造事業者である新東株式会社と出会い、その後、産学官の取り組みを進める地元信用金庫から大学教授の紹介があり、三州瓦のシャモットへの着色、成形方法の指導を受けたことで今回の新製品開発のきっかけができた。
- ・同社と新東は共同開発に平成20年から取り掛かり、不焼成による生産方式(特許出願中)を採用し、国内産の園芸用土(植込み材)を完成させた。



【三州瓦のシャモット】



【リサイクルコーン】



【リサイクルコーンを使用した商品群】

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

競争力

- ・国内での同様な植込み材を使用した事業者はほとんどいない。

市場性

- ・軽量・高保水・カラーバリエーション等の特徴をもち、外観から給水のタイミングもわかるという使い勝手の面でも付加価値要素をもっている点が競合品との差別優位性になる。

販路

- ・販路としては、ホームセンターや雑貨店だけでなく、ハウスメーカーなどにもノベルティとしての活用をPRし拡販を進めていく。

地域における関係事業者等との連携

- ・同社(共同申請者:新東)は愛知県陶器瓦工業組合よりシャモットの供給を受けている。

3類型	鉍工業品	通巻番号	4 - 22 - 003
地域資源名	美濃焼	認定日	平成22年6月15日
地域	多治見市、瑞浪市、土岐市、可児市	所管省庁	経済産業省

事業名：産学協同開発による美濃焼の新軽量強化磁器食器「おかるのキモチ」の製造・販売事業

会社名：大東亜窯業株式会社
 (共同申請者：有限会社メープル)
 連絡先：TEL：0572 - 55 - 3111
 FAX：0572 - 55 - 0574

所在地：岐阜県土岐市肥田町肥田2886 - 3
 H P : <http://www.daitoua.co.jp>

事業概要(新たな活用の視点)

- ・「軽く」て「強い」磁器のニーズに応えるため、独自に配合した土を産学協同(愛知工業大学、陶料メーカー)で開発。
- ・パット印刷による3色の外面印刷で精度の高い下絵付け技術を導入。また、下絵付けゆえに絵付け顔料の溶出が防げる。
- ・3年に及ぶ研究開発と試作を重ねた結果、平成21年に製品化に成功、「おかるのキモチ」というブランド名で発売を開始した。



【赤絵草花 和らく45小鉢】

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

競争力

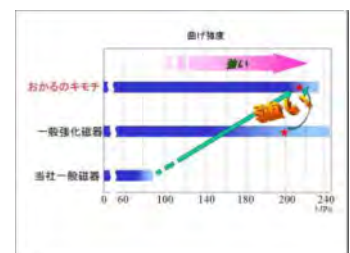
- ・業務用食器はメラミンやポリプロピレンなどの樹脂製が大半を占めるが、「日々の食事は陶磁器が良い」というニーズは根強い。
- ・本製品は、一般的な強化磁器以上の「割れ」に対する強さ、「ふち欠け」に対する強さを有しつつ、強化磁器と比較して10%以上の軽量化を実現している。



【「和らく」アソート例】

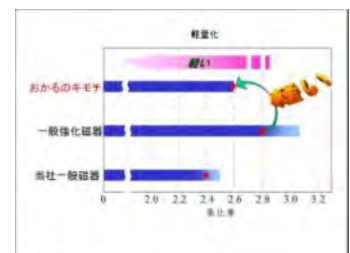
市場性

- ・消耗度の高い業務用食器分野においては、強度と軽さの両立した商品が高く評価される。
- ・本製品は機能 + デザイン、質感、季節感を表現出来ており、日本に伝わる陶磁器のぬくもりを感じながら、“食事の楽しさ”が演出できる。



販路

- ・老人養護施設やホテル・旅館、さらには企業の社員食堂や学校・幼稚園等への販路開拓を目指す。



地域における関係事業者等との連携

- ・地域の製土メーカー及び公設試験研究機関との連携を図っているほか、組合主催の見本市、陶器祭りなど各種事業へも積極的に参加している。

3類型	観光資源	通巻番号	4 - 22 - 004
地域資源名	加賀の伝統芸能	認定日	平成22年6月15日
地域	金沢市、小松市、加賀市、かほく市、白山市、能美市、川北町、野々市町、津幡町、内灘町	所管省庁	経済産業省、国土交通省

事業名：「薪能」など加賀伝統芸能を鑑賞・体験しながら秘湯深谷温泉でくつろぐ旅行企画の販路開拓

会社名：株式会社元湯石屋

所在地：石川県金沢市深谷町チ95甲

連絡先：TEL：076 - 258 - 2133
FAX：076 - 257 - 5717

H P : <http://www.motoyu-ishiya.jp>

事業概要(新たな活用の視点)

- ・体験型旅行ニーズの高まりを背景として、能を始めとする加賀伝統芸能の集積と同館に併設する能舞台を活用し、能楽公演や能楽師を講師とした仕舞の実演と練習、謡曲の発声体験、能楽おもしろ講座などに全国でも珍しい泉質を有する良質な温泉、能登の魚介類や地元加賀野菜を贅沢に使った加賀料理と宿泊を組み合わせたプランを提供。
- ・金沢の伝統文化に触れ、秘湯深谷温泉でくつろぐ従来の金沢観光にはなかった新しい観光メニューで集客を図り、深谷温泉の知名度向上、加賀伝統芸能の振興に取り組む。



【元湯石屋】

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

競争力

- ・能舞台を有する温泉旅館は全国的にも珍しく、北陸3県では同館のみである。近隣には多くの能楽師が在住しており、能楽公演等を実施する環境も整っている。
- ・秘湯でありながら、間近に北陸自動車道金沢森本ICが開設されるなど、近年、交通アクセスが飛躍的に向上している。

市場性

- ・石川県が県外からの観光客に行ったアンケート調査では、石川県での旅行テーマとして、食、温泉はもちろんのこと伝統工芸や伝統芸能に触れる旅への志向が高い結果となっている。本事業で取り組むプランは、これらのニーズにマッチしている。

販路

- ・伝統芸能に対して一定の知識を有し関心が高い層から初心者までそれぞれに合ったプランをラインナップし、関係団体へのパンフレットの配布や専門誌への広告出稿などで事業PRを進め、大手旅行代理店とも連携して集客を図る。



【能舞台】



【薪能の様子】

地域における関係事業者等との連携

- ・当主は、森本商工会会長、深谷温泉観光協会会長を務め、地域の活性化に尽力している。また、能楽師に師事しており、地元能楽関係者との幅広いネットワークを構築している。